

掛川市子育て世代向け住宅認定基準 チェックリスト（一戸建て住宅）

◆20200401

区分	番号	内容・仕様等	補足説明	項目	チェック
子育てする上での安全・安心	1	キッチンからリビング・ダイニングが見わたせる	キッチンが対面形式またはアイランド形式となっている。	キッチン	<input type="checkbox"/>
	2	キッチンスペースの奥ではなく手前（リビング）側に冷蔵庫を配置している	調理スペースを通らずに子どもが冷蔵庫から物を出し入れできる。		<input type="checkbox"/>
	3	階段が安全（滑らない工夫・手すり）である	階段は勾配が22/21以下で、けあげの寸法の2倍と踏面の寸法の和が550mm以上650mm以下であり、かつ踏面の寸法が195mm以上であること。また蹴込みは30mm以下であること。手すりの設置及び路面先端（段鼻）の滑り止め措置がされている。階段に幼児が入ってこられないようスライド式のゲートを取り付けることができる。平屋建ての場合は基準項目から除く。	階段	<input type="checkbox"/>
	4	造り付け家具や出隅の角が面取り加工してある	壁の出隅は高さ1.2m以下で面取り加工または保護材（クッション）をつけている。家具の角にコーナーカバー等を付けている。	全体	<input type="checkbox"/>
	5	コンセントに感電防止策がされている	リビングダイニング、子ども室など子どもが主に使用する部屋に、コンセントカバーやキャップをつけている。		<input type="checkbox"/>
	6	段差を少なくする工夫がある	畳間がバリアフリー化されているなど。		<input type="checkbox"/>
	7	室内ドアや引き戸は指・足を挟まないように安全対策がされている	引き戸の引き残し、ストッパー、オートクローザー、吊り元隙間カバー等の対策がされている。（和室襖・障子、押し入れ、物置等の戸は除く）		<input type="checkbox"/>
	8	家具に転倒防止措置が行われている	高さ1.2m以上の家具が対象。クローゼット内のタンス等の固定は任意とする。		<input type="checkbox"/>
	9	バルコニーまたは出窓は転落しないような工夫がされている	高さ1.1m以上の手すり等が設置され、手すりは足がかからない構造となっている。平屋建ての場合は基準項目から除く。	バルコニー	<input type="checkbox"/>
	10	キッチンに幼児が入ってこないようスライド式のゲートを取り付けることができる	キッチンと壁の間にスライド式のゲートを取り付けることのできる間取りとなっている。	キッチン	<input type="checkbox"/>
	11	キッチン吊戸棚に地震時の飛び出しを防ぐロック機能（耐震ラッチ）がある	引き戸、電動式の場合は適用とする。吊戸棚（食器棚高さ1.8m以上の部分を含む）がない場合は基準項目から除く。		<input type="checkbox"/>
	12	お風呂の床が滑りにくい素材になっている	滑りにくい凹凸加工がされていたり、滑り止めマットが設置されている。	浴室	<input type="checkbox"/>
家族にとってストレスをためない空間	13	トイレは子どもと一緒に入れる広さが確保されている	1箇所以上、概ね1.3㎡以上のスペースが確保されている。タンクレス便器を設置した場合は概ね1.1㎡以上とする。	トイレ	<input type="checkbox"/>
	14	リビング付近に収納スペースがある（子どものおもちゃ等の収納）	概ね1.2㎡のスペースが確保されている。（例：0.6㎡×2m=1.2㎡）	リビング	<input type="checkbox"/>
	15	玄関近くにベビーカーを置けるスペースがある	概ね1.0㎡のスペースが確保されている。	玄関	<input type="checkbox"/>
	16	泥のついたもの（キックボードやサッカーボール等）の収納の工夫がある	玄関の土間部分の収納スペースや外部物置が確保されている。		<input type="checkbox"/>
	17	玄関に下駄箱またはシューズクローゼットが設置されている	下駄箱は後から購入した家具でもよい。	駐車場	<input type="checkbox"/>
	18	駐車場は2台分以上あり車止めの設置など安全にも配慮されている	庭や玄関までのアプローチなどが駐車場と分離されている場合は、車止めの設置は任意とする。		<input type="checkbox"/>
	19	家族全員で集まることのできる主要な居室がある	リビングなどの主たる居室がある間取りとなっている。	全体	<input type="checkbox"/>
	20	子ども部屋は床・壁等が汚れの落としやすい素材になっている	床フローリング、壁ビニルクロスなど。無垢材などの自然素材のものは使用可能とする。		<input type="checkbox"/>
	21	雨の日に洗濯物が干せる設備やスペースがある	浴室暖房乾燥機や室内吊り下げ式物干が確保されているなど。		<input type="checkbox"/>
	22	水周りの素材が掃除しやすい素材である	トイレや洗面所の壁や床が掃除しやすい素材である。		水周り
空にのびる子供も健康でいられる	23	リビングは十分な採光がある	有効採光面積は居室の床面積の1/7以上を確保されている。	リビング	<input type="checkbox"/>
	24	健康または環境に配慮されている建材が採用されている	ホルムアルデヒドに関して規制対象外（F4☆）の建築材料が使用されている。	全体	<input type="checkbox"/>
親子が触れ合える空間	25	キッチンで子どもに手伝いをさせることができる広さ・工夫がある	キッチンの間口は概ね2.4m確保されている。（アイランドキッチンは概ね2㎡）	キッチン	<input type="checkbox"/>
	26	家族全員が一度に座れるテーブルを置く場所がある	リビング・ダイニングの広さは概ね20㎡確保されている。		リビング
	27	子どもがリビング・ダイニングで勉強等をして過ごせる広さがある	（家族1人当たりの面積が4.8㎡以上確保されていることが理想）	<input type="checkbox"/>	
工夫を凝らす子育て環境	28	常に家族の気配が感じられる間取りになっている	リビング・ダイニング・キッチン内は全て視線がつながる間取りとなっている。リビングイン階段又はリビングを通らないと子ども部屋に行けない間取りとなっているなど。	全体	<input type="checkbox"/>
	29	子ども専用の収納スペースがある	子ども専用の部屋を設けない場合は、リビングなど他の部屋に子ども専用の収納スペースが確保されている。		<input type="checkbox"/>
たにのびる子供も健康でいられる	30	子どもの絵や写真等を飾れる場所や設備がある	ピクチャーレール・コルクボード・伝言ボードなどが設置されている。		<input type="checkbox"/>
	31	将来的にスライドドア等で間取り変更が可能である	子ども室を将来分けることが可能な間取りとなっているなど。	将来の子ども部屋	<input type="checkbox"/>
のびのびとした子育て環境	32	子どもの増えてくる荷物の収納場所がある	子ども用の収納スペースは余裕をもった広さが確保されている。	全体	<input type="checkbox"/>
	33	水遊びができる場所がある	屋外水栓があり、外部で水遊びができるスペースがある。	環境	<input type="checkbox"/>
34	アプローチから住戸まで段差が無く、ベビーカーをスムーズに操作できるようになっている	住戸の玄関までスロープなどが設置されている。	バリアフリー	<input type="checkbox"/>	

★該当項目はチェック欄口にレ点を付ける

※1 以上の基準のうち、7割以上（23項目）の基準をクリアしていれば、掛川市子育て世代向け住宅（一戸建て住宅）として認定する

※2 以上の基準のうち、○印は必須項目とする（34項目×1/3≒11項目）

茶 「かけがわお茶の間宣言」の精神に沿った項目を示す
ス 「スキップのすゝめ」